

# 「アクションプログラム2015」 に対する市民意見募集の結果について

市では、平成27年度の「施政方針」・「予算」・「行財政運営に関する改革プログラム」を取りまとめた「アクションプログラム2015」における事務事業の達成状況や重点課題についての評価結果などを8月末に公表し、市民の皆様から意見の募集を行い、その結果を取りまとめましたので、報告いたします。

## 1 意見募集の概要

### (1) 募集期間

平成28年9月1日（木）～10月31日（月）

### (2) 周知方法

ア 市政だより（9月1日号）

イ 案内チラシ（区役所、図書館、市民館、行政サービスコーナー等で配布）と行政情報コーナーにて冊子を公表（区役所等で配架）

ウ 市ホームページ（「アクションプログラム2015の実施結果」のページ）

エ 広報掲示板（市内545箇所）へのポスター掲出

### (3) 意見提出方法

電子メール、郵送、FAX、持参

## 2 意見募集の結果等

2名の市民の方から2件の意見が寄せられました。  
主な内容としましては、重点課題・事務事業の実施の方向性に対する提言などがありました。

### (1) 結果一覧

| 提出者数 | 意見数               |                 |                     | 合計 |
|------|-------------------|-----------------|---------------------|----|
|      | 1 重点課題・事務事業に関するもの | 2 政策評価の手法に関するもの | 3 その他意見募集の趣旨に沿わないもの |    |
| 2名   | 2件                | 0件              | 0件                  | 2件 |

### (2) 意見の要旨及び市の考え方

次ページのとおり

重点課題・事務事業に関するもの（2件）

| 意見等の要旨  | 意見等に対する市の考え方  |
|---|---|
| <p>バリアフリーについて、障害者トイレや駅のエレベーターの増設はありたいが、工事の情報提供や人的なサポートが不十分な面があり、改善の必要があると考える。</p> <p>環境局が所管している公衆トイレは、廃棄物処理の一環という位置づけだが、トイレの閉鎖等に関する情報提供が不十分なまま長期間にわたって閉鎖されているケースが2006年の川崎駅西口階段下公衆トイレ工事以来、武蔵小杉北口等において目立っている。今年の3月は、溝の口駅北口ヘデストリアンデッキにおいてエレベーターとトイレの工事が重なったため、トイレ工事の情報提供の不充分さがより目立ち、特に南武線改札のバリアフリールートが工事期間中使用できなかったことが不便であった。これについて昇降機のサポートを明記して対応した高津区道路公園センターの対応は満点とは言えないながら良かったと思う。情報提供が充分であったかどうかという観点からも評価が必要ではないか。</p> | <p>本市が維持管理を行っている駅前公衆トイレの改修工事については、利用者の方々に御不便とならないよう工事期間を短縮するよう努めるとともに、トイレの使用を一定期間中止しなくてはならない場合には、工事の事前周知の期間を十分に確保し、代替トイレまでの案内を掲示するなどの対応を行っています。</p> <p>また、近隣の鉄道事業者にも、工事期間中の駅構内トイレの使用について御協力をいただいています。</p> <p>今後、更なる利用者の利便性の向上を図るため、丁寧かつわかりやすい案内を行っています。</p> |
| <p>ようやく鷺沼駅周辺整備に動きがあるようだが、鷺沼周辺のまちづくりに当たっては、交通不便地域である、白幡台や初山の交通利便性が向上するよう、市バスの新規路線を設定してほしい。同地区の人達は、溝口行バスを利用する方々が多いが、宮前区内での住民の移動を活性化させるためにも、鷺沼～登戸・向ヶ丘遊園間のバス路線を設定してほしい。</p>   | <p>バス路線の新設に当たっては、安全な輸送サービスを提供するために必要な道路走行環境、お客様の利便性と利用状況とのバランス、さらに、運転手など経営資源と収支状況等を踏まえ慎重に検討する必要がありますので、貴重な御意見として参考にさせていただきます。</p>   |